

あきる野市

平成21年(2009)9月30日

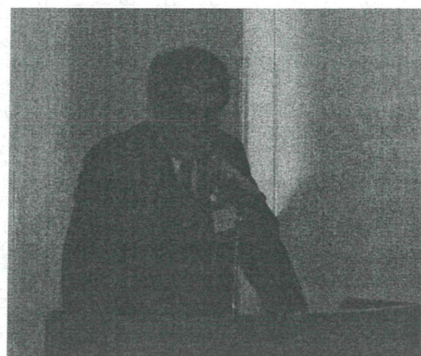
第15号

町・自連会報

発行/平成21年9月30日 発行者/倉田克治 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

今年度の総会は、世界不況と新型インフルエンザの世界流行真っ直中での開催でした。この状況は、多分、連合会結成以来初めての経験と思えます。

しかし、経済に関しては最近になり見えなかつた底が見え始め、世界的不況も好転の兆しが見えてきた報道があり、少しは安心させてくれる材料が出てきましたが、まだ安心出来ない状況にあります。



平成二一あきる野市町内会自治会連合会定期総会

定期総会は、四月二十四日(金)あきる野ルピアに市長、市議会議長、教育長、総務部長、社協会長のご臨席のもと開催しました。

総会の開催に当り、連合会会長の倉田克治氏から次ぎの挨拶がありました。

ご挨拶

あきる野市町内会・自治会連合会

会長

倉田克治

今年はそのような不安を抱えた中で、三つの課題が事業方針の中心となります。

一つ目は、厳しい市財政のため、補助金の一〇%カット対応の予算編成で今までのない厳しい予算です。

二つ目は、始まったばかりの町内会・自治会が核となつて進める防災・安心地域委員会の推進で、地域防災の要として取組が求められています。

三つ目は、防災・安心地域委員会推進のネックでもある未加入世帯(四〇%が未加入)の加入促進を図るもので、今年度から「加入促進部会を設置」して、時間を掛け取組を進めるものです。

そして、総会の議事に入り、平成二〇年事業報告、会計・基金決算報告及び監査報告並びに平成二一年度の事業計画、会計・基金予算の提案があり、全ての議案が承認さ

れました。

今年度の退任会長は、原小宮町内会加藤陽一氏、前田自治会高木恵子氏、ホームタウン秋川自治会琴沼道夫氏、草花住宅自治会笹井恵治氏の四氏が承認されました。

又、新任会長には、原小宮町内会唐澤廣明氏、前田自治会潮田豊氏、ホームタウン秋川自治会吉田全宏氏、草花住宅自治会笹井恵治氏の四氏が承認されました。

加入促進部会の設置

昨年一二月に発足した町内会・自治会連合会の防災・安心地域委員会は、地区別に活動を推進していますが、従来から連合会として問題視していた未加入者の多いところは町内会・自治会の防災対策のネックになっております。

そこで、在住の未加入者及び新規転入者の加入促進を図るため連合会の役員会に「加入促進部会」を設置して取組むことに致しました。

加入促進と申しましたも種々課題があります。現行の町内会・自治会活動を十分理解せず、会費、寄付金を支払

う、役員を担当させられる、人付き合いの苦手な方には苦痛であるなどの理由から自己の生活範囲に止り加入しない。

しかし、平素の生活においては、会員各位の協力で、地域環境整備が整い、防犯灯が明るく照らし、会員による自主防犯パトロール、災害時に備え、近隣の住民が助け合い安心・安全の確保に取組んでいる活動を住民として認知せず、利用している現状を改善する観点から、加入促進を図るため次ぎの活動を計画しています。

一、加入促進のチラシを新規転入者に市の窓口及び不動産協会加盟店に依頼して店頭で配布します。

二、加入促進ポスターを作り未加入者を対象に各地域の掲示板に掲示します。

三、町内会・自治会活動の認知度を高めるため「講演会」を開催します。

四、全住民に防災マップ・防災マニュアルを配布して、防災意識の高揚に努め加入促進に結び付けます。

(加入促進部会長)

中井 公康

平成二一年度花いっぱい運動

今年度の花いっぱい運動は従来、苗からの植付けが主体でありましたが、最近では、種から植え付ける団体も増加して全体で四八団体がこの運動に参加しています。

七月二日に実施した花壇コンクールには、新規地域からの参加三団体を加え二二団体の応募がありました。

花の種類により異なるが、デザイン、植付けた後の手入れも良く常時開花させ花壇を色度つて美しく近隣の皆さんを楽しませてくれました。

また、植付け作業も専任で行うケースが多い中で、小学生にデザイン・植付け・手入れに参加させている団体も見



最優秀花壇名 洲上自治会

受けられ感心しました。

今年度の成績は

○最優秀賞 洲上町内会

○優秀賞 油平自治会役

乙津自治会

小中野自治会

小和野自治会

戸倉東部自治会

○優良賞

(本郷上宿花壇)

(本郷下宿花壇)

森ノ下自治会

雨間町内会

小川東町内会

青木平自治会

二宮団地自治会

○努力賞

今後の検討課題として、花壇に花木を組み合わせたケースも多く見受けられるので、今後は花木も審査対象に加えてはとの意見もありました。

あきる野市町内会自治会連合会全体・役員会議事録

平成二一年

◎四月一六日(役員会)

●定期総会役割分担

●防災マップ再修正

◎五月一九日(役員会)

●平成二一年度事業計画

●視察研修幹事の選出

●加入促進部会の構成

●一斉清掃業務委託料の締結

●連合会会費の徴収

●簡易保険説明会の開催

●防災マップ配布方

●市補助金カットに伴う連合会の対応

◎六月一六日(役員会)

●部会活動報告

●視察研修幹事の報告

●連合会会費の納入状況

●全体会開催

●連合会支出の承認

●不動産会社への加入チラシ配布依頼

●東京都地域の底力再生助成制度の活用

●地域委員会補助金の扱い

●「補助金カット」統一見解(市からの連絡事項)

●女性防犯指導員候補者推薦

●社会を明るくする運動

●郷土の恵みの森構想

●敬老行事推進事業

◎七月二一日(全体会)

●二一年度事業計画

●視察研修の企画・準備

●部会活動報告

●弔慰金等贈呈規定の改正

(市からの連絡事項)

●自衛隊からのお祝い

●善行青少年の推薦

●社会福祉協議会事業への協力のお祝い。

●広報担当への「町内会・自治会での取り組み」情報提供のお祝い。

●郷土恵みの森構想

●自然環境調査

●地域イキイキ元気づくり事業

●高齢者緊急通報システム

●敬老行事推進事業

●女性防犯指導員候補者推薦

●家具転倒防止器具等給付パンフレットの配布委託料支払

●総合防災訓練の日程

●花いっぱい運動審査結果

◎八月二一日(役員会)

(市からの連絡事項)

●地域懇談会

(各地区からの報告事項)

●各地域委員会の報告

●日本不動産協会と協定書の取り交わしの件

●視察研修の概要

●部会活動報告

編集後記

会報第一五号は、当連合

会の定期総会及び加入促進部

会の設置、各地区防災・安心

地域委員会推進状況並びにス

ポ・レク大会、花いっぱい運

動等について掲載しました。

現在、連合会が取組んでい

る地区別の防災・安心地域委

員会の事業活動では、各種課

題の推進過程で会員の皆様に

は各種調査等で、ご協力をお

願いすることが多いと思いま

すが、一日でも早く安心・安

全の確保を図るために宜しく

お願い致します。

会員の皆さんが、掲載内容

をお読みいただき、今後の事

業展開に向け、具体的なご意

見を拝聴頂ければ幸いです。

(会報部会) 山下松濤

防災・安心地域委員会の推進状況

前年一二月、市内七地区(旧町村)に発足してその活動も半年が経過しましたので、各防災・安心地域委員会(以下「委員会」という)の推進概況を報告致します。

【東秋留地区】

昨年一二月に他地区と同時に委員会を立ち上げ、新たな広域の防災組織がスタートしました。

この組織は、町内会・自治会を核に、消防、交通、防犯、福祉関係、PTA等二八人の委員と市地域コミュニティ応援隊八名で構成されています。地震や火災等の災害が発生したとき、地域の特性を生かした災害救助活動を行うことで、安全・安心のまちづくりの役割を担って参ります。

これまで委員会と役員会を三回開催し、その都度一四町内会・自治会には協議内容について報告してきましたが、委員から各町内会・自治会の防災体制の実態がわからないとの意見があり、実態調査を

実施し、その調査結果をまとめ第三回委員会に報告しました。

今後は、これらを活用する中で二ヶ月に一回の予定で委員会を開催して参ります。

【西秋留地区】

昨年一二月に防災・安心地域委員会の設立式が挙行され当地区においても二一年一月に第一回委員会を開催し、委員長以下二二名の計九構成団体より選出された委員により発足致しました。

以後三回の委員会を開催し
①西秋留地区一〇町内会・自治会の自主防災組織の確立・確認(委員会に書面で報告)
②各町内会・自治会の世帯構成人員把握及び要援護者の確認を実施。
③今後の委員会運営の円滑をはかるため一〇町内会・自治会の会長全員を委員に加えて、構成委員は二七名となりました。

④今年度の重点目標の市防災訓練に向け各町内会・自治会と協力して計画を立案中で

す。

【多西地区】

昨年一二月に第一回委員会を開催、役員会と委員会を交互に開催してきました。計画では避難所の町内会別割振りを終えて、避難所の活動を

行っている時期ですが、避難所の割振り目処がついた処で三ヶ月程度遅れています。理由は、委員会が今まで取り組んだことのない「地域防災の在り方」の論議が先行し、意識高揚から始まったためです。

この結果、避難所は、地震と水害で違う(川沿いの避難所は浸水がある)、避難所の開設までの段取り問題、トイレの設置等解決しておかなければならない問題が浮上し、今後の検討項目となり、又、地域委員会に町内会・自治会長が全員いないと解決に時間が掛かる問題点が浮上した。

現時点の解決事項は、
一 避難所の割振り
二 避難所の宿泊体験を実施(八月二十九日、三十日)
三 町内会・自治会長全員を

において

- 一 地域特有の詳細な防災マップの作成を検討します。
- 二 住民全員による活動を推進し防災名簿を作成します。
- 三 市指定避難所の地域割り避難所運営等の検討を行います。
- 四 避難ルートの設定等災害を想定した具体的な防災・安心避難訓練の実施を計画しています。

【戸倉地区】

当地区委員会は、六回の委員会と三回の役員会を開催しこの委員会が出来た経緯や実際に災害が起きた時の対応として、昨年度の防災訓練に合わせ避難訓練を計画・実施した実績があり、それを応用することでも対処し、今年も防災訓練に参加し問題点を検討することとしました。

会議では災害発生時は自身自身の生命を最優先に、次に人命の救助として、要援護者の支援が優先されるとの考え方から名簿作りを重点に話し合いました。

名簿作成で個人情報やプライバシーの問題についての対処として委員は誓約書を提出

し、各家庭に対しては生命に係る時は第三者機関に名簿の提出が出来ることとしました。地区在住者の皆様には名簿作成にご協力を頂き有難う御座いました。有効に活用させて頂きます。今後は、市の防災訓練への参加と、災害発生時の各種団体の取り組みについて協議していきます。

【小宮地区】

前年一二月に第一回委員会を全自治会長及び構成団体からの代表並びに市地域コミュニティ応援隊のメンバーを加え開催、各自主防災組織の現状報告を受けました。

第二回委員会は二月開催、自治会別に住民数の把握をするため世帯別名簿を新年度にかけて作成することにしました。

今年度に入り第三回委員会を六月に開催、消防、PTA委員の交代があり紹介するとともに、防災マップの配布、世帯別名簿の作成状況の確認を行い、未加入数八世帯(加入率九七%)との報告がありました。今後の取り組みは防

委員会の委員とするです。じっくり推進します。

【増戸地区】

当地区の委員会は、自治会が核になる関係から全自治会長を委員に任命し事業展開の効率化を図り地区関係者のご理解と協力を得て、平成二一年度事業計画に従い、地区防災マップの配布と併せ、全住民数と要援護者数の把握アンケート調査を実施しました。

その調査結果に基づき、八月五日に第五回委員会を開催して市指定避難所の地域割り・受入体制の確立等の検討に取組むとともに、要援護者の支援体制の確立を図るため、今年度が最終年度に当たる東京都の「地域の底力再生助成制度」を活用して緊急時・発災時に備え要援護者の支援台帳整備と緊急医療情報キット配布及び要援護者支援要員の確保等に取組んでいます。

また、並行して委員会発足の趣旨である各自主防災組織の拡充を図るとともに今年度

の防災訓練に向けて、他地域に跨る市指定避難場所までの避難訓練を試行するため各自治会別に防災訓練マニュアルの見直しに取組んでいます。

【五日市地区】

委員会の設立に当り、五日市地区においても早速設立準備を開始しました。

委員会の開催議題の検討において、五日市地区は一八自治会で構成されているが活動の中心となる自治会の委員が七名であり、その他の所属団体の委員も地域が偏りがあることが判り、とりあえずの措置として、委員会には全自治会長に参加を願うこととしました。

また、全住民に対しては、当活動の概要、活動参加へのお願い等を事前に周知すべきとの意見から「委員会結成のお知らせ」を発行、全戸に配布しました。今後の委員会活動方針については、五日市地区の特性を生かした活動にすべく、住民全員が参加できることを主眼

平成二一年度スポーツレクリエーション大会について

本年度の大会は、二〇一六年オリンピック開催を東京に誘致するためのイベント「オリンピックムーブメント」が正午に組み込まれ、有名人タレントによるトークショウが会場を賑わせました。

全体を通じての反省点は、
①大会の開催について
市の財政が厳しく、各町内会・自治会への大幅な補助金削減で、負担金も増加して中止、一年置きに開催すべきの意見もありました。

本来の主旨に従い開催、地域住民との親睦が図れ、普段自治会活動に参加できない者が家族揃って参加することで近隣住民との交流・親睦がはかれ、地域の共通意識が芽生える等効果は大きい。

次年度の開催については、幹事部に任ねる。②運営方法の見直し
子供の参加は多いが出場種目が少ない。



- また、運営役員が多く係role役員の見直しが必要である。(運営経費削減)
- ③競技種目の改善
団体対抗競技種目の改善
- ④少子高齢化により選手選考が難しく参加団体が年々減少補助金支給制度の見直しを行い、団体対抗競技に出場しなくても団体参加を認める。等の意見が出されました。